

令和6年度（2024年度）事業計画書

国際情勢が混乱を極める現在、各国の懸け橋となるような人材を育成していくことが急務である。当寮は元々南満州鉄道職員の子弟育成のために創設された。このような経緯を鑑みると、中国との関係を重視しつつ、アジア諸国、ロシア、欧米の懸け橋となるような人材を育成していくことが当寮の使命であることは明らかなだ。

他方、地球温暖化を中心とする自然環境の破壊は著しく進み、人類を含む多くの生物が滅亡の危機に瀕している。この危機に対処していけるような人材を育成していくことも当寮の使命である。

心の救いを起点として、これらの使命を達成できるような寮運営を実行していきたい。

（1）男子学生の収容

寄附行為の第3条により、公益財団法人春風学寮の建学の目的は下記のとおり定められている。「本寮は男子学生の収容及び奨学援助をはかり、神を畏れ、学を励み、自治協同の精神を養い、併せて寮生相互に愛と信頼を厚くすることを目的とする。」

この目的を達成するため、本寮は東京近郊の男子学生を収容する。その際、地球環境に配慮した寮運営を行っていく。

（2）聖書研究集会の開催

前述の建学の目的にさらに沿うため、本寮は、寮長の小舘美彦を中心に、先輩や関係者の方々のご協力により、夏・冬・春の休寮期を除く毎週日曜の午前中1時間半、聖書研究集会を行う。出席者は、本寮の学生および寮長夫妻であるが、寮長の許可があればそれ以外の者も参加できる。

（3）感謝祭（寮祭）の開催

春風学寮感謝祭（寮祭）を4月27日（土）に開催する。寮祭当日は、寮生は「受付」や「会場」係など裏方の仕事に協力し、講演や先輩方との交流を通じて、学びの機会を持つ。

（4）クリスマス祝会の開催

12月21日（第3土曜日）、午後5時半から9時まで、クリスマス礼拝、夕食会を含む祝会（寮生による演劇・演奏・余興・ゲームなど）を行う。来賓や学寮の先輩、お世話になっている方、友人等々を招き、交流の時を持つ。

（5）留学生の支援

留学生（大学院生）への奨学援助を重視する。

（6）読書会・学習会の開催

聖書関連の著作をはじめ、内外の古典名著や現代の重要な著作を通じて読書会・学習会を開催する。また、留学生の祖国の言語・文化を学ぶ会を設け、同時に日本の原語・文化を留学生に伝える会も開催する。

(7) 講演会・先輩から話を聞く会の開催

学問や文化、内外の時事問題に対する理解を深めるために講演会を開催する。その際、卒寮生や寮友・関係者などを招き、職業体験や社会で学んだこと、ぜひとも寮生に伝えたいことなどについて話をしてもらおう機会を設ける。

(8) 懇親会・小旅行・見学

親睦を深めるために、スポーツ大会や文化的活動を行う。また自然や文化を知るために、小旅行を行う。

(9) 寮生の活動の援助

寮生が自身の研究のための調査や講演会に参加しようとする場合、あるいは国際交流やボランティアに参加しようとする場合、その費用の一部を援助する。

(10) 「創立90周年事業」

春風学寮・創立90周年記念事業として、昨年に引き続き、建物の修繕や設備の更新を行う。

(11) 春風学寮ホールの開放

寮のホール(集会室)を文化的活動や交流のために開放する。ホールは寮の日曜日の聖書集会や諸行事で使用されるが、それらに支障をきたさない限り、できるだけ地域の人たちや寮関係者に使用してもらおう。

(12) 図書及び研究資料の収集

聖書や古典の理解を深めるため、関連図書や資料を収集し、整理する。

(13) 理事会・評議員会の開催

2024年6月に2023年度決算・事業報告のための理事会・評議員会を開催し、2025年2月に2025年度予算・事業計画のための理事会・評議員会を開催する。

令和6年2月

公益財団法人春風学寮

寮長

小館美彦